

8月

ほけんだより

平成27年8月1日

南日野保育園



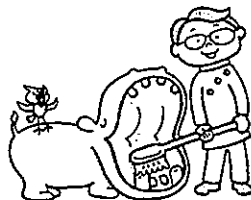
毎日ジメジメした暑い日が続いています。8月は、気候に留意しながら水・プール・絵の具遊び等夏ならではの遊びを楽しんでいきたいと思ひます。また水分の摂り過ぎや冷房等で身体は疲れます。保護者の方を始め子どもたちも健康管理に気をつけていき、夏を元気に乗り切つていきましょう。

高熱に注意! **夏かぜ**

夏かぜを起こすウイルスは、冬のものとは異なり、高温多湿を好むタイプです。せきや鼻水は少なく、肺炎などに進行することはまれです。夏に流行する主な病気に、プール熱、ヘルパンギーナ、手足口病などがあります。

- 高熱が出る
- 目の充血、痛みがある
- のどが赤くはれ、痛みがある
- 体に発しんが出る

これらの特徴があったり、いつもと様子が違うときは、必ず受診し、医師の診断を仰ぎましょう。



歯科健診のご協力ありがとうございました。今年「虫歯」は少なく「歯石」が多く見られたようです

溶連菌感染症

*** 原因**

溶血性連鎖球菌(溶連菌)という細菌による感染症です。潜伏期間は2~6日間。

*** 症状**

高熱が出て、のどが赤くはれます。全身に小さな発疹が出たり、舌にも赤いブツブツが出たり、目が赤くなる場合があります。

*** 対応**

抗生物質で治療しますが、薬の服用は医師の指示に従い、途中で服用をやめないことが大切です。

また登園届が必要です。



いんどう プール熱(咽頭結膜熱)

*** 原因**

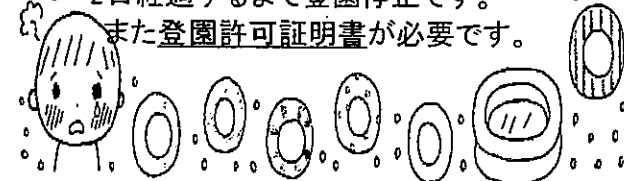
アデノウイルスによる感染症で、夏かぜのひとつです。プールの水を介して感染することがあるため「プール熱」と呼ばれます。潜伏期間は4~5日間。

*** 症状**

高熱とのどの痛みがあります。充血、涙目、目やになど結膜炎のような症状や、下痢、嘔吐、頭痛を伴うこともあります。

*** 対応**

熱や痛み、目の症状を抑える薬が処方されます。症状がなくなつてから2日経過するまで登園停止です。また登園許可証明書が必要です。



虫刺されの手当て

蚊やハチに刺されることが心配な季節になりました。蚊に刺された時、あるいは腫れが小さい場合は流水で洗い、かゆみ止めを塗ればよいでしょう。

ハチや毛虫の場合、あるいは蚊でも腫れが大きくかゆみや痛みが強い場合には受診したほうがよいでしょう。スズメバチやクマバチなどに刺されると、呼吸困難や意識障害を起こすケースもあるので、注意が必要です。



暑い夏を元気に過ごすポイント



エアコンは27~28℃に設定



外では帽子をかぶろう



食事はしっかり、水分もこまめに補給



毎日体を洗おう

子どもたちが薄着になる季節です。怪我の予防の為にも毎日爪のチェックと爪が伸びたら爪切りをお願いします。

